

三木地区
市政懇談会資料
(書面回答)

地区からの意見・提言(書面回答)

三木地区

	意見・提言の内容	書面回答
1	長期不在空家の危険箇所の解体手続きの簡略化について	生活環境課
2	自治会への回覧・配布物について	市民協働課
3	三木スマートインターチェンジ整備事業に伴う久留美大橋の改良及び当該大橋以東の市道の拡幅工事計画等について	プロジェクト推進課 道路河川課
4	北播磨総合医療センターと三木市民の健康施策について	北播磨総合医療センター 健康増進課

市政懇談会 書面回答

地区名	三木地区	
要望事項	1	長期不在空家の危険個所の解体手続きの簡略化について（東紫美ヶ丘）
<p>(内容)</p> <p>長期不在にされている空き家について、防災や防犯、衛生、景観への悪影響が指摘されている。</p> <p>樹木の生長により、ブロック塀の倒壊につながる危険な状態で放置されている空き家については、持ち主と連絡調整を試みるが返答なしの場合がある。</p> <p>このような案件について、危険防止のために手続きなどの簡略化ができるように条例を改正し明文化してはどうか。</p>		
回 答	(担当課) 市民生活部 生活環境課	
<p>市では、「空家等対策の推進に関する特別措置法」及び「三木市空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、環境衛生、景観及び防災への悪影響を及ぼす等といった管理不全な空き家の所有者等への指導等を行い、周辺住民の生活環境の保全を推進しているところです。</p> <p>また、このたび、国において令和5年4月に民法が改正され、相隣関係に関する手続きが簡略化されました。</p> <p>例えば、隣の空き家の土地からの草木が越境し、「所有者に伐採を依頼したが返答がなかった。」「所有者を調査しても分からなかった。」等の場合において、越境された土地の所有者は、自らの越境部分の草木を切り取ることができる等の危険防止措置が取れるようになりました。</p> <p>市としましては、今後も空き家の適正対策を推進するとともに、相隣関係に関する手続きの簡略化についての情報を、広報、ホームページ及び税務課が毎年4月に送付する固定資産税の納税通知書にもチラシを同封する等により周知していきます。</p> <p>なお、地区内に危険と思われる空き家がございましたら、引き続き所有者等への指導等を行いますので、生活環境課空き家対策係までご相談ください。</p>		

市政懇談会 書面回答

地区名	三木地区	
意見・提言等	2	自治会への回覧・配布物について（芝町）
<p>（内容）</p> <p>市から依頼のあった広報活動を行うことについては何ら異論はないが、従前は実施されていなかった一部の所管施設の広報誌（○○○だより等）が、未だに継続して全自治会に全戸回覧されている。</p> <p>これについては、所期の目的を達成していると思われること、また、現在の情報社会では、誰でもが手軽にホームページ上で閲覧できること、加えて行政事務及び資源の無駄を省き、かつ自治会役員の手間を省く意味からも全体的に見直しをしてはどうか。</p>		
回 答	（担当課）市民生活部 市民協働課	
<p>全自治会へ依頼している全戸回覧の配布物については、令和2年度から緊急を要するものを除き、月初めの便に集約することとしました。これにより、実施前の令和元年度、228件ありました配布物は、令和4年度には129件と約半減しており、区長様の負担軽減に努めています。</p> <p>ご指摘の一部の所管施設の広報誌などについて、他の方法で周知できるものは周知方法を見直し、自治会への回覧・配付物について、更なる削減を検討してまいります。</p>		

市政懇談会 書面回答

地区名	三木地区	
意見・提言	3	三木スマートインターチェンジ整備事業に伴う久留美大橋の改良及び当該大橋以東の市道の拡幅工事計画等について (芝町)
<p>(内容)</p> <p>久留美大橋以東の市道の拡幅工事について、地権者に何等の説明もなされていないようであるが、このことについて市の見解を聞く。</p> <p>① 拡幅工事の予定が現状で有るのか否か。</p> <p>② スマートインターチェンジ整備完成後の交通状況を見てからの検討か否か。</p> <p>③ 地権者への説明はどの程度（どの範囲）に、いつどのような形式で実施されたのか否か。</p> <p>④ 拡幅工事を実施するといった文言を目にすることについて市としてのスタンスは。また、当該箇所の市道を拡幅する場合は、当然に久留美大橋も改良する必要があることと予測するが、拡幅工事との優先順位を含めて将来計画を示されたい。</p>		
回 答	<p>(担当課) 都市整備部 道路河川課 都市整備部 プロジェクト推進課</p>	
<p>まず、久留美大橋以西については、スマートインターチェンジの整備完成目途にあわせて整備を進めており、関係する地権者にも説明をおこなっています。</p> <p>一方、久留美大橋以東については、現在、歩道が整備され一定の概成が整っております。久留美大橋の架け替えには、かなりの費用がかかること、架け替え時の周辺交通への影響が大きいことから具体的な整備時期や設計、計画については決定しておらず地権者への説明はしていません。</p> <p>ご提言のとおり、スマートインターチェンジ完成後の交通状況を見ながら、他の路線も含め、今後の道路の整備計画を検討していきたいと考えています。</p>		

市政懇談会 書面回答

地区名	三木地区	
意見・提言等	4 - ①	北播磨総合医療センターと三木市民の健康施策について（芝町）
<p>（内容）</p> <p>医師数に占める研修医の割合（直近データ）</p>		
回 答	（担当課） 北播磨総合医療センター	
<p>令和5年7月末現在、医師数は172人、その内、研修医は26人が在籍しています。</p> <p>医師数に占める研修医の割合は、15.1%になっています。</p> <p>なお、統合前の平成24年度は、医師数は81人、その内、研修医13人と比べて、約2倍以上となっています。</p>		

市政懇談会 書面回答

地区名	三木地区	
意見・提言等	4-②	北播磨総合医療センターと三木市民の健康施策について（芝町）
<p>（内容）</p> <p>マグネットホスピタルの一端に、“医療人材の育成を担うこと”とあるが、翻ってみると、医療スキルの未熟な、又は経験値の低い医師が集まってくる病院と解釈できるがいかがか。</p>		
回 答	（担当課） 北播磨総合医療センター	
<p>研修医が研修先の病院を選択できる制度において、当医療センターに研修医等が集まることは、研修可能な機能が十分に備わっている魅力ある病院であると考えています。つまり、経験豊富な医師が多く、医療設備が充分であることが理由であり、言い換えれば、研修医が集まらない病院は、ソフト面・ハード面に魅力がないということです。</p> <p>また、優秀な指導医が多い病院に研修医が集まります。研修をきっかけに医師の定着に繋がるなど、医師の充実によって質の高い医療の提供ができます。</p> <p>医療界では、研修医が集まるということを消極的に捉えることではないと考えています。</p>		

市政懇談会 書面回答

地区名	三木地区	
意見・提言等	4-③	北播磨総合医療センターと三木市民の健康施策について（芝町）
<p>（内容）</p> <p>北播磨総合医療センターで一年間に受診された三木市民の人数の直近のデータと全受診者に占める割合（ともに実人数ベースで）</p>		
回答	（担当課） 北播磨総合医療センター	
<p>令和4年度の一年間に当医療センターを受診された入院患者数は11,424人で、その内、三木市民は3,510人でした。三木市民の占める割合は、30.7%になっております。</p> <p>また、外来患者数は253,620人で、その内、三木市民は82,289人でした。三木市民の占める割合は、32.4%になっております。</p>		

市政懇談会 書面回答

地区名	三木地区	
意見・提言等	4-④	北播磨総合医療センターと三木市民の健康施策について（芝町）
<p>(内容)</p> <p>三木市民の受診率が高い市民病院であれば、市民の近々及び累年の疾病状況がタイムリーに把握でき、病院での統計・分析結果を基に市民の疾病特性に応じた適時適切かつ焦点化した健康施策への反映が期待でき、医療面から健康面へのフィードバックにより医療費の抑制効果にも繋がる施策の実施も可能である。しかしながら、北播磨総合医療センターの三木市民の受診率では市民を包括した的確な疾病状況が把握できず、三木市民の特性に応じた予防医療や健康施策への展開といった面では課題があり、この意味で市民の健康保持のために機能する病院といえるかとの疑念があるが、市の見解を聞く。</p>		
回 答	<p>(担当課) 北播磨総合医療センター 健康福祉部 健康増進課</p>	
<p>三木市民の健康施策については、健康増進課を中心に庁内関係課だけでなく、北播磨総合医療センターを含む医師会、歯科医師会、薬剤師会などの庁外関係機関とも協力して取り組んでいます。</p> <p>健康状態の把握には、国保や後期高齢者保険に加入された方が多く受診される町ぐるみ健診の受診結果を統計データとして活用しております。健診結果で保健指導が必要となった方には、現在、糖尿病性腎症の重症化予防において北播磨総合医療センター腎臓内科の医師と情報共有と相談を実施しているところです。</p> <p>また、北播磨総合医療センターには、町ぐるみ健診の受け入れだけでなく、集団健診や集団予防接種における医師や看護師の派遣協力、健康教育開催時の講師派遣協力など、幅広い分野で、高度な専門性を生かした健康づくりへの協力体制があります。</p> <p>今後も、市民の健康づくりに関する事業については、両者の連携を深めながら推進していきたいと考えます。</p>		

市政懇談会 書面回答

地区名	三木地区	
意見・提言等	4-⑤	北播磨総合医療センターと三木市民の健康施策について（芝町）
<p>（内容）</p> <p>マグネットホスピタルを標榜しているにもかかわらず、町ぐるみ健診（個別健診）の基本健診ですら年間を通じて9月～12月までの4カ月しか受け入れないのはなぜか。経営優先で高額な人間ドッグを推奨しているようにも思えるが。</p>		
回 答	<p>（担当課） 北播磨総合医療センター 健康福祉部 健康増進課</p>	
<p>健康管理センターでは、町ぐるみ健診（個別健診）のほか、人間ドッグ、協会けんぽ健診など様々な健診を受け入れており、それぞれ一定の期間を区切って実施しています。</p> <p>なお、北播磨総合医療センターでの町ぐるみ健診（個別健診）の基本健診の実施月は、当初（平成26年度から平成29年度）は1月～2月の2か月間としていました。平成30年度からは、市と北播磨総合医療センターとの調整の結果、9月～12月の4か月間となりました</p>		

市政懇談会 書面回答

地区名	三木地区	
意見・提言等	4-⑥	北播磨総合医療センターと三木市民の健康施策について（芝町）
<p>（内容）</p> <p>北播磨総合医療センター側から見るとマグネットホスピタルと言えるかもしれないが、受診率等から見た三木市民の実相としてはノンマグネットホスピタルだと思うが市の見解はいかがか。</p>		
回 答	<p>（担当課） 北播磨総合医療センター 健康福祉部 健康増進課</p>	
<p>地域の医療は、①日常的な診察や健康管理、退院後の継続治療を担うかかりつけ医、②急性疾患や重症患者の治療を24時間体制で行う急性期を担う病院、③リハビリ等の回復期・慢性期を担う病院があります。それぞれが機能を担いながら、切れ目のない医療を提供する地域完結型医療になっています。</p> <p>その中で、急性期病院である北播磨総合医療センターは、地域の医療機関と連携を図りながら、地域の医療機関では対応が困難な医療の提供を行っています。よって、マグネットホスピタルの「患者にとって医療機能が充実し、安心して医療を受けられること」という考えに沿った医療の提供を行っていると考えます。</p>		

市政懇談会 書面回答

地区名	三木地区	
意見・提言等	4-⑦	北播磨総合医療センターと三木市民の健康施策について（芝町）
<p>（内容）</p> <p>前市長が決断した北播磨総合医療センター開院から10年を迎えて、北播磨総合医療センターは今でも三木市民のための市民病院として十分な役割を果たしているのか。それとも、市民病院としての本来機能は失せているが、北播磨圏域の急性医療を担う、単なる“北播磨総合医療センター”なのか。市の見解とその理由は。</p>		
回答	<p>（担当課） 北播磨総合医療センター 健康福祉部 健康増進課</p>	
<p>北播磨総合医療センターは、急性期医療を提供する病院として、高度な医療の提供をしているところです。</p> <p>さらに、北播磨総合医療センターの医師や看護師の派遣により、地域住民の健康促進を目的として、地域住民向けに行う出前講座や公開講座を開催しています。</p> <p>このように、北播磨総合医療センターは、幅広い分野で高度な専門性を生かした健康づくりへの協力体制により、市民の健康施策について、市と連携を深めながら推進しています。</p>		